

平成23年10月3日

# 南の風

南部ミニバスケットボール連盟  
会長 藤原 敬一

南部連盟のミニバスケットボール関係者の皆様、保護者の皆様、益々ご健勝のことと存じます。

今夏も、バスケットボールのイベントが全国各地で行われました。高校のインターハイでは金沢総合高校女子が、見事に全国優勝を成し遂げました。また中学校では、横須賀学院中学校が全国大会に出場し活躍しました。世界に目を向けますと、ロンドンオリンピック女子アジア予選が、8月の下旬に長崎で行われました。残念ながら日本は3位となり、今回の大会ではロンドンオリンピック出場は叶いませんでした。来年の世界予選に期待したいと思います。そして、さらに残念なことに、先日男子は最終アジア予選で韓国に敗れ、ロンドンオリンピックの道を断たれてしまいました。

さて、先日南部秋季大会も無事終了しました。男女共に熱戦が繰り広げられ、男子は磯子チーム、女子は六浦南チームが見事優勝しました。特に女子の決勝戦は大変レベルの高い試合となりました。展開の速さ、シュート確率の高さ、一人ひとりの基礎技術の高さなど、とてもミニバスとは思えない試合でした。観戦していた中学や高校の指導者の方も感動されていました。

市大会に出場する南部チームの活躍を心から願っています。

次に、8月27日(土)に行われました『指導技術講習会』では、選手はもちろんのこと、指導者並びにチーム関係者の方が参加し、大変有意義な時間を共有することができました。技術委員会の委員の方をはじめ、ご協力いただいた役員の方、関係者の方に感謝申し上げます。また、講師としてお出でいただき、正しい基本技術のみならず、小学生の成長に伴う、安全指導の面についても講習をしていただきました、鈴木 良和氏とスタッフの方に、心より御礼申し上げます。

『水は方円の器にしたがう』という言葉が、論語の中にあります。組織やチームは、指導者の力量によって伸びもするし停滞もすると言われます。けっして経営者や指導者の力以上には伸びないということです。ならば、われわれ指導者はそれぞれのチームの実態を踏まえ、指導のねらいをしっかりとち、選手にどのような力をつけたいのかということを中心に考え、指導者自身が成長しなければなりません。

そのためには、進んで研修に勤しみ、最新の指導技術を学び、指導方法を身につけていく以外に道はありません。幸いなことに、現在は各種の指導書やDVDが出回っています。また講習会やクリニックも各地で開催されています。学びの場はかなりあると思います。指導者の方の研鑽を期待したいところです。また、南部としても技術委員会を中心に、今後、どのような講習会を開催したらいいのかを検討していきたいと考えています。

南部連盟の子供たちのため、今後ともよろしく申し上げます。